第13回生存科学研究所・市民公開講座

ケアと芸術

日時 2025年9月28日(日) 13:30 - 15:00

会場 国立病院機構 東京医療センター 外来棟大会議室
東京都目黒区東が丘2-5-1
最寄駅：東急田園都市線 駒沢大学駅下車 徒歩 15分

基調講演

ケアと芸術の歩みからたどる人類の歴史

ジネスト・マレスコッティ研究所所長 Yves Gineste

※逐語通訳

ケアと芸術は、人類700万年の歴史の始まりから今日に至るまで、絶えることなく続いてきた営みです。洞窟で家族のケアにあたっていた女性たちは、同時に洞窟壁画を遺した最初の芸術家でもありました。ケアと芸術は歴史的に密接なつながりを持ち、その関係性は、私たち人類が初めて直面している超高齢社会において、ますます重要性を増しています。13回目を迎える生存科学研究所の市民公開講座では、ケアと芸術の関係性を人類史的かつ実践的視点から、ユマニチュードの考案者が論じます。

同時開催 第7回日本ユマニチュード学会総会
大会長：片山充哉(国立病院機構東京医療センター)
2025年9月27-28日

● **開催テーマ：多職種で取り組む組織のユマニチュード**

入場無料・参加事前登録制 申し込み：<https://jhuma.org>

主催：公益財団法人生存科学研究所・日本ユマニチュード学会